



解説 (表面・界面を利用してスピンの流を作る)

トポロジカル絶縁体の表面準位では運動量方向に依存してスピン方向が決まっている (左)。このようなトポロジカル絶縁体に電流を印加すると、フェルミ円がシフトし表面にスピン蓄積が生じる。トポロジカル絶縁体上に金属を成膜するとスピンの流として拡散する (右)。